



いしかわ労福協

第 513 号 2010年10月31日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田 弘志
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

蘇州市総工会第12次業務考察団来日

石川労福協と友好交流を深める



第12次訪日団の皆さん(左から李洪峰氏、景国荣氏、郭明祥団長、戈芊芊秘書長、張洪宝氏)

蘇州市総工会第12次業務考察訪日団(郭明祥団長、戈芊芊秘書長、景国荣、張洪宝、李洪峰の5名)一行が9月23日(祝・木)小松空港に到着した。石川県労働者福祉協議会と蘇州市総工会は1986年以來の友好関係にあり、今回の業務考察団は、蘇州市総工会との覚書に基づき、当協議会が招へいし来日に至ったものである。

折しも、9月7日に起きた沖縄尖閣諸島沖における漁船の領海侵犯、巡視艇への衝突事件の最中で来日が危惧されたが、予定どおり来日。石川労福協との友好交流が一層深まり、相互の信頼と友好をさらに充実するものとなった。

来日した23日(祝・木)と翌24日(金)の両日



石川県への表敬を終えて



金沢市長と懇談

は、金沢市に滞在し、石川県、金沢市長への表敬訪問、津田駒工業株式会社と雇用能力開発機構石川センターの協力による視察、労福協、事業団体との意見交換などを通じた交流を行い、労働者や県民、市民らとの有意義な交流が行われた。

当協議会との交流の場では、上田弘志石川労福協理事長が「1986年以降互いの友好を深めてきている。今年の3月には石川労福協から5名が貴国を訪問しており、その



津田駒工業㈱にて富井常務の説明を受ける



吉岡雇用能力開発機構石川センター統括所長の説明を受ける郭団長ら



雇用保能力開発機構石川センターを見学



金沢城をバックに一同集合

際熱烈な歓迎をしていただき感謝している。郭明祥団長ら団員を熱烈歓迎すると共に、互いの友好が深まることを期待する」と挨拶した後、郭明祥団長が「石川労福協と蘇州市総工会



北陸労金石川県本部にて



全労済石川県本部にて



労福協・各事業団体との意見交換会



「ろうきんフェスタ」のステージにて紹介される一行



周恩来記念碑に献花した皆さん

は20年以上の友好交流が続けてきている。その間、中国は改革開放政策を続け大いに発展してきたが、蘇州市総工会としてこれに対応すべき課題は多いと思う。両団体は今後も益々発展し続けるものと考え、皆さんも蘇州市を訪れて友好交流されることを心から歓迎する。我々の訪日により、更に相互の交流促進と友好の発展に寄与したい。」と挨拶された。



京都労福協にて

25日(土)からは、東京、京都へ移動し、日本の新しい文化と古来の文化を見学し堪能したほか、京都労福協へも訪問し意見交換を行うなど、タイトな日程を予定どおり消化し、楽しい友好交流の記憶を手土産に28日(火)関西国際空港から帰国の途についた。

これからの行事予定

開催日	曜日	行 事	会 場
11月1日	月	富士タクシー労働組合五十周年式典	金沢市内
2日	火	自治体要請行動 石川県知事への要請 ろうきん金沢西支店地域推進委員会研修会(～3日)	石川県庁 加賀市内
4日	木	中部労福協研究集会(～5日)	大阪市内
5日	金	新公益法人移行手続セミナー	金沢流通会館
6日	土	コープいしかわ創立十周年記念式典	ANAクラウンプラザホテル金沢
8日	月	消団連「第2回消費者学校」	フレンドパーク石川
9日	火	日帰りバス旅行「伊勢1000年参詣」 自治体要請行動 金沢市長への要請	三重県伊勢市 金沢市役所
11日	木	第3回中部労福協幹事会(～12日)	金沢市内
14日	日	全労済50周年記念事業「映画鑑賞会」	サンビーム日和ヶ丘
15日	月	第41回消費者大会	金沢市アートホール
16日	火	第3回将来構想懇談会	フレンドパーク石川
17日	水	第60回勤労者美術展 開会式 〃 祝賀会	金沢勤労者プラザ 金沢スカイホテル
19日	金	中央労福協加盟団体代表者会議	東京都内
20日	土	全労済50周年記念事業「映画鑑賞会」	県立音楽堂
22日	月	平成22年度職業紹介事業主研修会	金沢駅西合同庁舎
23日	火	第10回大衆運動活動家合祀追悼会 〃 「感謝のつどい」	金沢市内 フレンドパーク石川
12月10日	金	食みどり水ネット「第42回全国集会」(～11日)	東京都内

各種集会・講演会・研修会等には
フレンドパーク石川をご利用下さい。
(076)234-2421

第11回いしかわ緊急サポートネットワーク会議

いしかわ緊急サポートネットワークの「第11回ネットワーク会議」が10月15日(金)、フレンドパーク石川で開かれ、ネットワーク構成団体の石川県、石川労福協のほか8団体から計14名が出席した。

宮下亮石川労福協専務理事の挨拶のあと、直江圭祐アドバイザーより平成22年度上期の事業について、「会員の登録は利用会員で毎月10名程度の計68名増加している。また、預かる子どもの人数も月平均150人と増加傾向にある。利用補助制度は利用会員757名中444名が利用している」と報告した。

次に、村上美和子石川県少子化対策監室子育て支援課長より、県の進める「ファミリーサポート実施協議会」の設置により、来年3月末までに全ての自治体がファミリーサポートセンター等を立ち上げることとなったので、緊急サポートセンターの廃止にともなうファミリーサポートセンターへの移行も可能となった。これからは、具体的に会員の募集や提供会員の研修、事務手続きの徹底に努めていくと報告がなされた。

以上の報告に次いで才田巖石川県労働者福祉協議会副理事長より、平成22年度下期の活動計画について①ファミサポへの円滑な移行と運営の実現を平成23年度の自治体要請に盛り込む、②各地域センター単位の会員交流会の開催、

③移行にむけた会員説明会の開催、など提案した後、意見交換を行った。

各委員からは「半額補助制度の打ち切りについて」、「県下全域にセーフティーネットができることについての意義と今後の子育て支援への関わり方」、「緊急サポート事業の廃止以降についても、何らかのかたちで子育て支援に係わってゆくべきだ。」との要望が出された。

これに対し、才田労福協副理事長から、「補助制度は、金沢市のように既に行っている自治体もあり、労福協として更なる継続は困難。」「来年3月で事業は終了するが緊急サポ事業の終わり方や、平成23年度以降の子育て支援の関わり方は、今後検討していきたい」と回答した。最後に3月のネットワーク会議の開催を確認し、閉会した。

緊急サポートアドバイザー 直江圭祐

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員登録状況／サポート状況 2010年9月現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	13	97
わじま	2	12	0
ななお	8	4	0
はくい	5	6	5
かほく	19	69	7
かなざわ	164	523	681
はくさん	38	88	25
こまつのみ	21	42	16
計	263	757	831

緊急サポかなざわ・はくさんセンター合同 会員交流「いも掘り大会」

今回はじめて緊急サポートかなざわセンターと同はくさんセンターは、合同して「利用会員」と「サポート会員」の交流を目的に、10月10日(日)午前10時より、金沢市粟崎地区で五郎島金時の「いも掘り大会」を開催した。

4回目となる今年は、55家族170名の親子が参加し、会員相互の親睦と金沢名産・五郎島金時の「いも掘り」を楽しんだ。

当日は雨も心配されたが、才田巖労福協副理事長が挨拶し、かなざわ・はくさん両ライフサポート会長が紹介された後、近くの畑へ移動して一斉に「いも掘り」を開始した。

大きな金時いもが見つかる、畑のあちこちで大きな歓声が湧き上がり、またたく間に「いも掘り」を終了した。



その後、参加者 芋掘りに精を出す子ども等はテント前でスタッフが準備した「掘りたての五郎島金時の入ったメツタ汁」と持参したお弁当を親子で囲み楽しんだ。

帰りには掘った金時いもをお土産に持ち帰り、大好評のうちに終了した。

緊急サポートアドバイザー 直江圭祐

2010～11年度活動方針の中間総括と補強について協議される

中央労福協主催の「2010年度事業団体・地方労福協合同会議」が、10月7日(木)、8日(金)に東京都内のホテルにおいて、中央労福協、地方労福協、各事業団体の代表等79名が出席して開催された。

笹森清中央労福協会長の挨拶の後、中央労福協、事業団体、各ブロックの労福協からそれぞれ活動報告がされた。次いで、協議事項に移り、①第4回加盟団体代表者会議を11月19日に開催、②2010～11年度活動方針の中間総括と補強については地方労福協の意見や要望を取り入れて第4回加盟団体代表者会議に提案、③事業団体の利用促進に向けた労福協・労働組合は更に連携することをそれぞれ確認された。

8日は、「社会的企業としての労働者福祉事業」と題した高木郁郎日本女子大学名誉教授の特別講演の後、高橋均中央労福協事務局長が加盟団体代表者会議に向けた「労福協活動の課題の整理と議論の進め方」について提起し出席者から多数の意見や要望が出され閉会した。

2010年度第1回中部会館協議会幹事会

10月5日(火)砺波市「越中庄川荘」において、中部会館協議会加盟の幹事10名が出席し第1回中部会館協議会幹事会が開催された。

幹事会では、各会館から、耐震補強、設備更新など会館運営維持にかかる課題などがあるとそれぞれ報告がなされた後、問題解決に向けた情報交換や意見交換が活発に行われた。

最後に、これまで幹事として活動してきた石川労福協宮下亮専務理事が退任の挨拶を行った後、全員の労いの拍手で終了した。

売上金をNPO施設に寄贈する

10月7日(木)金沢地域ライフ・サポートセンターは、9月23日開催した「ろうきんフェスタ」の「ちびっ子ゾーン」での全売上金43,560円について、NPO施設パッチワークに寄贈した。贈呈式は、同NPO法人が運営する施設で行われ、久富象二北陸労金本店営業部長、谷内英明金沢LSC事務局長らが施設代表者に手渡した。

「さわやかU」結成10周年に集う



澤信俊さわやかU理事長

NPO法人いしかわ介護ボランティアセンター(さわやかU)の結成10周年記念式典・トークショー・感謝の集いが9月22日に金沢ニューグランドホテルにおいて役員など92名が参加し開催された。

式典では澤信俊いしかわ介護ボランティアセンター理事長の御礼の挨拶の後、上田弘志石川県労福協理事長、北伸之石川県社会福祉協議会事務局長から祝辞を受けた後、これまでの10年間を振り返ると共に、移送サービスなどの活動に長年にわたり活躍いただいたボランティア



上田弘志
労福協理事長

活動家7名を表彰して感謝の意を表した。

第2部は金沢在住のフランソワーズ・モレシャン、永瀧達治夫妻によるトークショー、第3部は京都府名誉友好大使であるサエーハン嬢によるモンゴル舞踊とヤトグ(モンゴル琴)の演奏が行われ成功裡に終了した。

参加者の皆さんに心より感謝申し上げます。

さわやかU事務局長
宮本一二



フランソワーズ・
モレシャン夫妻



サエーハン氏による舞踊と演奏

「ありがとう ろうきんフェスタ 2010」が開催される



金沢地域ライフ・サポートセンターと北陸労働金庫の金沢市内4店舗が主催する「ありがとう ろうきんフェスタ 2010」が9月23日(祝・木)に金沢市袋島町の石川県産業展示館2号館にて開催された。

この催しは、北陸労働金庫の利用者(連合石川の組合員やろうきん友の会



もっくり太鼓

員など)への感謝祭として今回で5回目を数えるもので、朝から生憎の空模様でしたが、会場のステージでは、親子参加で威勢のいい「もっくり太鼓」がオープニングに演奏され、次いで、手品、ジャグリング、ジャズバンド演奏など盛り沢山の演技が「腕自慢・のど自慢」のお客様参加の手で披露され盛り上がりを見せた。

会場受付では、デジカメやフォトスタンドなどが90名に当たる抽選会や労金キャッシュカード利用者に高級ローションティッシュなどが贈られ、お客様が思わず微笑む光景も見られた。



地元産の新鮮野菜の即売

また、生憎の空模様にも係わらず、1,200名のお客様や市民の来場者で、玉子、砂糖、キャ



ノーラ油などの食料品や洗剤、トイレトペーパーなどの生活用品の格安での物販コーナー、金沢地域L S



着ぐるみの動物やスーパーボールすくいなどに興じる子どもら



ステージで演技する参加者 好評のバナナの叩き売り C綿征一会長自ら「ねじり鉢巻」で販売の先頭に立った人気の「バナナの叩き売り」、昨年から超人気の「マグロ解体ショー」では80キロの鹿児島産本マグロが見事な包丁さばきで解体され、またたく間に完売となった。さらに、恒例のおもしろ自転車やドームプール、縁日コーナーのある「ちびっ子ゾーン」は人気が集まり、子供達の元気の良い歓声が沸き上がった。



また、文化部会の「チャリティふれあい書画展」が同時に開催され、展示した130余点の作品を多くの家族が鑑賞した。



解体されるマグロ

フェスタの途中、石川労福協と友好関係にある中国蘇州市総工会から来日したばかりの業務考察訪日団5名が来場し、ステージにおいて団員と来日目的が紹介された。団員は、飲食コーナーで、たこ焼きや日本そば、マグロの刺身に舌鼓を打ち、書画展などを観覧し満足な表情で会場を後にした。

今回も多くのお客様と賑わいの中で予定した全ての催しが、労金推進委員や金沢地域L S C幹事などの協力で成功裏に行えたことを報告し、来年は、北陸労働金庫創立10周年を迎える年度に当るので、2011年10月1日(土)の創立記念日に石川県産業展示館2号館にて開催することを決定し終了した。



講評する氷田清風先生



福祉施設の菓子販売



書画展で表彰する綿会長

第8回福祉グラウンド・ゴルフ大会

河北地域 LSC が団体の部を連覇し、上位独占する

石川県労働者福祉協議会 ライフ・サポートセンター主催、(共催：ろうきん友の会、石川県障害者スポーツ協会、



上田弘志 石川県労働協理長



杉森重廣 石川県障害者スポーツ協会副会長

後援：石川県グラウンド・ゴルフ協会、北國新聞社)の第8回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会は、10月20日(水)かほく市ニツ屋の「高松



グラウンド・ゴルフ場」を会場に県内9地域ライフ・サポートセンターからの代表選手235名、県障害者

スポーツ協会からの招待選手30名の計265名の参加で開催された。

大会は、上田弘志石川県労働協理長、杉森重廣石川県障害者スポーツ協会副会長がそれぞれ挨拶し、続いて石川県グラウンド・ゴルフ協会の中田清氏からルール説明がされた後、上田理事長と杉森副会長による始球式が行われ、絶好のコースコンディションの中で団体戦及び個人戦の熱戦が繰り広げられた。

競技後、各部門別の表彰式、宮下亮石川県労働協専務理事による閉会の挨拶があり、引き続きお楽しみ抽選会が行われ大会を終了した。

グラウンド・ゴルフ大会成績

<団体戦の部>優勝：河北地域LSC・B、準優勝：河北地域LSC・C、3位：河北地域LSC・A

<個人男子の部>優勝：柳森紀男(羽咋A)、準優勝：浜田健二(河北C)、3位：藪三男(能登C)

<個人女子の部>優勝：春間フミ子(輪島穴水B)、準優勝：渡辺七美子(七尾鹿島D)、3位：増田真喜子(小松能美C)

アジア・アフリカへの支援米田で稲刈りを行う

食とみどり、水を守るネットワークは、9月26日(日)金沢市牧山町の田んぼで「アジア・アフリカ支援米」の稲刈りをする組合員やその家族、関係者ら約100名の参加を得て行った。

宮下亮同ネットワーク副代表の開会の挨拶があった後、参加者らは稲刈り作業にあたった。当日は、天候に恵まれて作業もはかどり、気持ちよい汗をかくうちに終了し、作業の後に、焼きそばやメッタ汁等を堪能した。

刈り取った稲は、加賀地区、能登地区での収穫と合わせて支援米として、年末にはアジアやアフリカで飢餓に苦しむ人に送られる予定である。



河北LSCグラウンド・ゴルフ大会

秋晴れのもと280名が参加

10月16日(土)、高松グラウンド・ゴルフ場で280名が参加し「全労済50周年記念事業



河北地域ライフ・サポートセンター グラウンド・ゴルフ大会」が開催された。

さわやかな秋空の下、釜井誠次河北LSC会長、水野志郎全労済石川県本部専務の挨拶の後、日頃の腕を競い合った。

競技もさることながら、表彰式に続く豪華景品を含む100本の「ラッキー賞抽選会」では、拍手と歓声があがり会場は和やかな雰囲気にも包まれた。惜しくも抽選にもれた参加者もいつもよりちょっぴり高級な(?)参加賞を手笑顔の交流の場となった。

「全労済石川」そして「ライフ・サポートセンター」の活動への関心を深めていただけたかも……そんな期待を感じさせた秋の一日だった。

河北地域LSC 吉田雅子

白山・野々市 LSC

全労済石川県本部創立 50 周年事業『エコ』を考えるバスツアー

白山・野々市地域ライフ・サポートセンターは、10月2日(土)総勢 81 名の参加で全労済石川創立 50 周年記念事業として「赤そばまつり～奈良井宿～フルーツ詰め食べ放題」のバス旅行を行った。

当日は、本田和雄全労済石川県本部長も参加し、50 周年を迎えた感謝と今後の利用促進を呼び掛ける挨拶があった。

また、このバス旅行のテーマを地球環境を考えて「エコ」とし、道中、映画「アース」を鑑賞しつつ地球環境について考える時間を持ち、さらに、全労済の共済制度の理解を深めるビデオ研修も行った。最初の目的地の赤そば畑では、一面に赤そばの花が咲き誇った景色を堪能し、次いで、駒ヶ根「熊

沢農園」での「梨、りんご、ブドウ」の詰め食べ放題を楽しんだ後、中山道の宿場町「奈良井」に入り、往



時の面影がある古い町並みを散策し帰路について。

バス旅行のお土産はテーマの「エコ」に因み「ヤマボウシ」の苗木を配って終了した。

このバス旅行を機に、ライフ・サポートセンター活動への理解と運動の推進に会員の協力をいただきたいと感じた一日だった。

城址公園周辺の清掃を行う

白山・野々市地域ライフ・サポートセンターのボランティア部会は、10月24日(日)早朝午前7時前から20 数名の参加で松任城社公園とその周辺での清掃奉仕を実施した。

J R 松任駅前の整備事業もほぼ終了し、大変きれいになったものの、植込みの中や道端にはビニール袋、タバコの吸殻、菓子袋などがあり、参加者全員できれいな町並みを作ろうと清掃活動に精を出した。

町がきれいになると同時に参加者の心も洗われたように感じたのは私だけではないと思う。



白山・野々市地域 LSC 事務局長 福村滋

小松・能美 LSC

若者の交流を深める

小松・能美地域ライフ・サポートセンターは「第5回ふれあいパーティ&ビールまつり(連合小松能美地協主催)」に協賛し、9月3日(金)ホテルサンルート小松において、男性 58 名・女性 40 名の参加で、盛大に開催した。

普段は、仕事に追われるなど、なかなか交流する機会が少ない若者たちが、ひと時の間、楽しい時間を過ごすことができた。



チャリティーゴルフコンペ

第4回チャリティーゴルフコンペを、9月19日(日)ツインフィールズにおいて、17組68名の参加により開催した。

当日は天候にも恵まれ、また、日曜開催ということもあり例年より多くの参加者があったが、全員怪我も無く、ホールアウトすることができ楽しい一日を過ごすことができた。

表彰式では庭田会長の挨拶のあと、ドラゴン・ニアピン・各順位賞の表彰を行った。

チャリティー募金集額は、34,400 円で後日、社会福祉協議会へ寄付することを報告し、納谷副会長の閉会挨拶により終了した。

優勝：大橋正一(小松精練)、準優勝：川端祐治(ジェイ・バス)、3位：岩渕俊(北陸電労)

小松・能美地域 LSC 蔦千栄子



七尾・鹿島LSC

2010七鹿LSCバス旅行

9月25日(土)に総勢72名の参加で諏訪方面の旅を開催した。



昨年は雨と一緒に忘れられない旅だったが、今度は皆さんの日頃の精進のお陰で、北上する台風をものともせず大変な秋晴れに恵まれたなか、大王わさび農場でのツーンとくるソフト!!や昼食バイキングをたっぷり食べて諏訪湖一望できる大浴場入浴!!、はたまた遊覧船から富士山が見え、あの御柱祭で有名な諏訪大社で今年使われた本物を見るなどと、一同感慨もひとしおのバス旅行だった。

普段と異なった文化に触れて見聞を広げ、おいしいお土産もゲットし、来年またこのバス旅行での再会を胸に家路へとついた。普段のストレスもこれで解消、明日からまた頑張りましょう!!

ウォーキング大会

今年も天候に恵まれた10月16日(土)、約60名の参加者と共にウォーキング大会を開催した。



老いも若きもクイズを解きながら、わいわいがやがや楽しく、中にはファイナルアンサーよろしくテレホンブレーンに確認する一コマもあったり、御祓中学校バドミントン部員と顧問の先生と一緒に参加してくれ、その実力と食欲を如何なく発揮されたり、ベビーカーを押しながら完歩したお父さんもありと、それぞれにドラマがあった。

現代社会では自ら歩くことが減少してきます。歩くことでいつもの風景や場所に違った発見をしたり、何よりも季節を感じる事が出来ます。さあ、皆さんも爽やかにウォーキングを始めませんか!!

七尾・鹿島地域LSC 事務局長 井村 幸喜

勤 体 協

第44回県勤労者秋季大会シニアソフトボール(9月26日)

第44回県勤労者秋季体育大会剣道羽球大会(9月23日)
▽団体 ①北陸綜警A(金沢)②中西造園(かほく)③一文字会、北陸綜警B
▽個人▽男子 ①北井淳之輔(かほく)②大坪尚樹(北陸綜警A)③能山圭介(羽咋)④知剣友会(徳和利明)羽咋・富永剣友会▽女子 ①山路佳奈(文字会)②藤田涼香(同)③高真紗代(北陸綜警C)小林綾香(同)

第44回県勤労者秋季マレットゴルフ大会(9月19日)金沢市専光寺ふれあいの森ふれあいゴルフ広場
▽男子 ①本田征男(白山)②高澤勇③西川明(以上金沢)▽女子 ①西野昌子(金沢)②木谷吉江(白山)③中村真由美▽ホールインワン 西川明(金沢)直江正美(同)

第44回勤労者秋季体育大会第13回パークゴルフ大会(9月12日)県営手取公園
▽男子個人 ①北口登喜雄(白山)②多嶋茂八(能美)③池田憲太郎(白山)▽女子個人 ①長木百合子(白山)▽司理キミ子(能美)③泉照美(同)▽団体男子 ①千代野A(室・金戸・長木百・長木秀)②寺・辰軍団(林・多嶋・南・林)③白鳥会A(池田・北口・番・松川)▽団体女子 根上コスモス(西山・吉田・舟田・泉)②小松レディースフオー(前田・蓮池・高辻・池上)③松任あさがお(北田・吉村・岡本・村井)

第44回県勤労者秋季体育大会第13回勤労者秋季グラウンドゴルフ

第44回県勤労者秋季体育大会卓球七尾大会(10月17日)七尾市中島体育館
▽成績▽硬式男子 ①S-55②卓志③コマツ、余喜あつちゃんズ▽硬式女子 ①勤体協②粟崎公民館③卓志会、カトラ▽ラージボール男子 ①のとときりしま②白山クラブ③のときりしまA、中島クラブ

第44回県勤労者秋季9人制バレーボール加賀大会(10月17日)加賀市スポーツセンター
▽男子決勝
新風 2 (21 | 21) 14 | 19 0
M i c h e l
R e o
▽女子決勝
D B O N 2 (21 | 18) 14 | 21 1
加賀
C r a p

金沢市営専光寺ソフトボール場
▽順位 ①白山ク②野町シルバ③粟崎ク
第44回県勤労者秋季弓道大会(10月17日)小松市桜木弓道場
▽団体 ①窪川自動車B②中村留弓道部③能美市A
▽個人▽男子 ①園悟志北園弓友会②西田義人(中村留弓道部)③島崎洋明(窪川自動車B)▽女子 ①中村亜未(大同工業)②東森由紀子(能美市B)③井上雅子(同)

第29回団体登山

平成22年10月8日(金)10日(日)の日程で中高年男女29名のパーティで、祖谷溪を巡り、金刀比羅宮詣りを兼ねて中国四国地方随一の高さを誇り日本百名山でもある剣山へ登った。折角夜行バスで現地に着いたものの、雨足の強い悪天候の中で、雨具も役立たずなるほどのズブ濡れ状態となった。下山後、琴平温泉でゆっくり疲れを癒すことができ、二日は晴天に恵まれたので金刀比羅宮詣り、年に一度の例大祭の日と重なり、参加者一同奥社まで石段を駆けあげてきました。



第29回団体登山
平成22年10月8日(金)10日(日)の日程で中高年男女29名のパーティで、祖谷溪を巡り、金刀比羅宮詣りを兼ねて中国四国地方随一の高さを誇り日本百名山でもある剣山へ登った。折角夜行バスで現地に着いたものの、雨足の強い悪天候の中で、雨具も役立たずなるほどのズブ濡れ状態となった。下山後、琴平温泉でゆっくり疲れを癒すことができ、二日は晴天に恵まれたので金刀比羅宮詣り、年に一度の例大祭の日と重なり、参加者一同奥社まで石段を駆けあげてきました。

県勤労者秋季第12回サイアーランニング・第7回サイアーウォーキング大会(10月24日)金沢市の犀川河川敷
ランニングは30キロ、20キロ、10キロ、5キロの部、ウォーキングは6キロ、3キロの部が設けられ、男女約200人が自己記録更新に挑戦した。